

妻の就業と夫婦の時間配分に関する分析

An Analysis of the Time Allocation between Couples

水落正明

統計研修所客員研究官

MIZUOCHI Masaaki
SRTI Guest Researcher

永瀬伸子

統計研修所客員教授

NAGASE Nobuko
SRTI Guest Professor

平成 21 年 10 月

October 2009

総務省統計研修所

Statistical Research and Training Institute (SRTI)

Ministry of Internal Affairs and Communications

論文受理日:平成21年8月5日

本ペーパーは、総務省統計研修所の客員教授が、その責任において行った統計研究の成果を取りまとめたものであり、本ペーパーの内容については、総務省統計局又は統計研修所の見解を表したものではありません。

妻の就業と夫婦の時間配分に関する分析

An Analysis of the Time Allocation between Couples

水落正明* 永瀬伸子†

概要

2000年代に入ってから、日本経済はゆるやかな景気回復を享受するようになったが、同時にこの時期は、非正規雇用の拡大や賃金の伸び悩みなどが指摘された時期でもある。こうした状況下で家計は、どのように時間配分を行っていたのだろうか。

そこで本稿は、社会生活基本調査の平成13年および平成18年の個票データを用いて夫婦の時間配分に関する分析を行った。推定の結果、以下のようなことがわかった。夫の家事時間に対して、夫の通勤時間は負に影響するが、妻の通勤時間の影響ははっきりとはしなかった。一方、妻の家事時間は夫の通勤時間によって増加し、妻の通勤時間によって減少することが確認された。労働時間については、配偶者の通勤時間の影響は夫妻ともに確認できなかった。これらの結果から、家事については夫婦間で調整が行われているが、労働時間に関しては自身の調整のみで、夫婦間で調整が行われていないことが明らかになった。

【キーワード】 時間配分、妻の就業、家事・労働時間

* 三重大学人文学部准教授。

† お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授。

目次

1. はじめに	1
2. データ	1
3. 記述分析	2
3.1 夫の時間配分.....	2
3.2 妻の時間配分.....	2
3.3 夫婦間の比率.....	3
4. 時間配分に関する推定	3
4.1 家事に関する推定.....	4
4.1.1 夫の推定結果.....	4
4.1.2 妻の推定結果.....	5
4.2 労働に関する推定.....	6
4.2.1 夫の推定結果.....	6
4.2.2 妻の推定結果.....	7
5. おわりに	8

参考文献	9
------	---

図表

図 1 夫の時間配分.....	10
表 1 夫の時間配分(分).....	11
図 2 妻の時間配分.....	12
表 2 妻の時間配分(分).....	13
図 3 夫の時間配分(比率).....	14
図 4 妻の時間配分(比率).....	15
図 5 夫の時間/妻の時間	16
表 3 夫の家事(平成 13 年、Tobit).....	17
表 4 夫の家事(平成 18 年、Tobit).....	18
表 5 妻の家事(平成 13 年、OLS).....	19
表 6 妻の家事(平成 18 年、OLS).....	20
表 7 夫の労働(平成 13 年、OLS).....	21
表 8 夫の労働(平成 18 年、OLS).....	22
表 9 妻の労働(平成 13 年、OLS).....	23
表 10 妻の労働(平成 18 年、OLS).....	24
表 11 記述統計量(平成 13 年).....	25
表 12 記述統計量(平成 18 年).....	26

1. はじめに

本稿は、近年の夫婦の時間配分、特に家事と市場労働について、その状況や規定要因について分析を行う。

2000年代に入ってから、日本経済はゆるやかな景気回復を享受するようになったが、同時にこの時期は、非正規雇用の拡大や賃金の伸び悩みなどが指摘された時期でもある。こうした状況はもちろん家計にも影響を与えるが、その中で夫婦はどのように時間配分を行っていたのだろうか。ワーク・ライフ・バランスを考えるうえでも重要な、夫（男性）の家事および夫婦の市場労働に注目する。

本稿のように夫婦の時間配分に注目し、個票データを用いて行われた国内の分析として、小原（2000）、松田・鈴木（2002）、Ueda（2005）などがある¹。

小原（2000）は、（財）家計経済研究所による「消費生活に関するパネル調査」の1994年調査のデータを用いて分析している。その結果、共働き世帯において、夫の家事は夫妻それぞれの通勤時間に影響されず、妻の市場労働は夫の通勤時間が長いほど短くなることなどが明らかになっている。

松田・鈴木（2002）は、「社会生活基本調査」（総務省）の平成8年調査の個票データ（リサンプリング）を使っている。主要な結果としては、夫妻とも本人の労働時間が長くなると家事が短くなり、その傾向が妻で顕著なこと、配偶者の労働時間が長くなると本人の家事時間が増加することなどが示されている。

Ueda（2005）も、「社会生活基本調査」の平成8年調査の個票データを使っている。その結果から、夫が家事を手伝うことで妻の家事が減少するものの、その効果は5分の援助に対して1分の減少効果にとどまることが明らかになっている。

本稿では、これらの結果を踏まえ、「社会生活基本調査」の平成13年と18年調査の個票データを使って、夫婦間の時間配分について分析する。

2. データ

分析に用いる時間データに関しては、以下のように3つにまとめて使用する。

労働時間：「仕事」と「通勤・通学」の合計。

家事時間：「家事」、「介護・看護」、「育児」、「買い物」の合計。

余暇時間：「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」、「休養・くつろぎ」、「学習・研究（学業以外）」、「趣味・娯楽」、「スポーツ」、「ボランティア活動・社会参加活動」の合計。

分析対象は、夫が正規就業しており、夫婦ともに年齢が59歳以下の世帯である。在学中のサンプルは除いてある。この分析対象の平日の生活時間を扱う。さらに、この分析対象について、妻の就業状態によって妻正規、妻非正規、妻無業の世帯に区分する。その際、妻の非正規には自営等も含まれている。

¹ 国外では、Solberg and Wong(1997)などがある。また、国内の集計データ（社会生活基本調査）を使った分析としては、ボイルズ・柴田（1996）、水落（2006）などの論文がある。

3. 記述分析

本節では、記述的な分析を行う。

妻の就業状態別、末子年齢別に3つの時間の絶対水準および相対水準について、平成13年と18年の様子を見る。平均値の計算には乗率を使用している。

3.1 夫の時間配分

最初に、図1および表1で夫の時間配分について見る。表1の右側3列は平成18年の値から平成13年の値を引いたもので正の場合、近年にかけて増加していることを意味している。また参考として図3には家事、労働、余暇の合計時間に占める各行動時間の比率を示してある。

いずれの妻就業状態の世帯でも、平成13年から18年にかけて、おおむね労働時間は増加、余暇時間は減少している。ここでは示していないが、全体平均でも同様の結果であり、労働時間に関しては30分程度増加している。家事時間についても、数分ではあるが増加しているが、増加したのは妻正規と妻非正規世帯であり、妻無業世帯では減少している。余暇の減少と労働の増加については、単純に考えれば、余暇時間を削って労働時間を増加させているということだが、それでは余暇時間のどの部分が減少しているのであろうか。余暇時間の平成13年から18年にかけての変化を見ると、どの世帯類型、末子年齢で見ても安定的に減少しているのは「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」の時間であった。近年のメディア離れが時間でも確認された。そのほかでは、「学習・研究（学業以外）」がおおむね安定的に減少しているようである。「休養・くつろぎ」が大きく減少しているわけではないことは確認できた。

末子年齢で見た変化について述べていく。

家事時間について見ると、妻正規世帯では末子が0歳ではなく、1-2歳のときに家事時間のピークで、末子が幼い頃（5歳以下）までは一定の時間を費やしているのがわかる。それに対して、妻非正規、妻無業の世帯では、末子が0歳の時をピークに、それ以降は急激に家事時間が減少している。

労働時間では、妻正規と妻非正規世帯では末子の影響はあまりないようだが、妻無業世帯では、3-8歳あたりをピークに労働時間は減少傾向にあることがわかる。

余暇時間については、末子の年齢が上昇するほど増えていることがわかる。

3.2 妻の時間配分

次に妻の時間配分（図2、表2）はどう変化しただろうか。夫の時間配分と同様に見ていく。また、参考として、図4に家事、労働、余暇の合計時間に占める各行動時間の比率を示してある。

全体的な傾向としては、いずれの時間も微増である。夫では増減がはっきりしていたのと対照的である。例えば妻正規世帯では、夫の労働時間は5年間で30分前後増えているが、妻の労働時間は12分程度の増加にとどまっている。

末子年齢別の変化について見ていく。

家事時間では、いずれの妻の就業状態でも0歳のときに最も多い。妻正規世帯では、1-2歳では急激に減少しそれ以降は緩やかに減少している。妻非正規世帯では、1-2歳にかけてある程度減少したあとはあまり変化はない。妻無業世帯では6-8歳まで直線的に減少し、それ以降はほぼ一定になっている。

労働時間については、妻正規世帯では、0歳のときはかなり少なくなるが、1-2歳以降はほぼ同じ水準で推移している。妻非正規でも0歳のときにはやや少なくなるが、それ以降でもそれほど変わらない。

余暇時間について見ると、妻非正規と妻無業世帯では、末子の年齢上昇とともに余暇時間が増えているが、妻正規では1-2歳にかけて減少した後、少しずつ増加しているのがわかる。

3.3 夫婦間の比率

次に比率（夫の時間／妻の時間）で夫婦の時間配分について見る。妻の就業状態別、末子年齢別による違いを図5に示した。

家事時間については、妻正規世帯では、末子が0歳のときよりも1-2歳、3-5歳の時のほうが値が大きくなる。これは先に見たように、妻が元の就業状態に戻るためであると考えられる。妻非正規と妻無業世帯では、末子年齢にかかわらずほぼ0のところを推移していることがわかる。

労働時間について見ると、妻正規世帯では、夫は妻の1.5倍前後の労働時間であり、末子年齢に関わらず安定的である。ただし、0歳の時の値については労働時間が0分の妻が計算上サンプルから落ちてしまうため、1~1.5倍程度になっているが、平均値で比べれば大きな差が生じる。妻非正規世帯では、夫は妻の2倍前後であり、末子年齢0歳を除いて末子年齢にあまり依存しない。

余暇時間は、妻正規世帯では末子が0歳のときには1~1.5倍程度であるが、1-5歳では2倍前後に上昇する。追加的な出産を望まない原因として夫の育児に対する協力の少なさが指摘されることがある。その意味では、家事時間で見たと同じように、この時期には夫の家事分担は増加する。したがって追加的な出産に貢献すると考えられる。しかしながら、妻からみれば夫の相対的な余暇時間が大きく増加しており、妻側への過大な負担感の一因になっている可能性がある。山口（2005）の研究では、夫の家事参加が出生力に与える影響は有意ではなかったが、こうした事実としての夫の分担増にも関わらず妻の負担感が増加するため、出生を促進する効果が出ないのかもしれない。妻非正規世帯では、夫比率は末子の加齢とともに低下し6-8歳以降、妻と同等程度かやや多い程度に移行している。妻無業世帯では、余暇時間の夫比率は末子1-2歳までは1を超えているが、それ以降では0.6-0.8程度になっている。

4. 時間配分に関する推定

本節では、夫婦の時間配分についてその規定要因に関する推定を行う。分析するのは家事時間と労働時間である。

時間データの推定には、基本的にはOLS（最小二乗法）を用いるが、夫の家事時間については8割前後がゼロと回答しているため、OLSでは偏りのあるパラメータが得られてしまう。そこで、夫の家事時間については標準トービット・モデルのうち、打ち切り回帰によって推定を行うこととする。また、これまでの記述分析と同様に、調査年別、就業状態別に推定を行う。

時間配分は内生的に行われると考えられるが、通勤時間については外生的にとらえ、誘導モデルを推定することとする。すなわち、家事時間と労働時間を被説明変数とし、説明変数に、通勤時間、末子年齢、親との同居、居住都市規模、最終学歴、市場貸金率を用いることとする。

貸金率については、同じ調査年の「賃金構造基本統計調査」（厚生労働省）を使って、都道府県別、属性（年齢階級、企業規模、学歴）別に時間給を計算して外挿した。単には千円であ

る。妻の賃金率については、妻正規世帯には通常の賃金率を、妻正規世帯にはパートの賃金率を外挿している。

以下では、家事時間に関する推定結果（表 3～6）と労働時間に関する推定結果（表 7～10）を示す。記述統計量は表 11、12 に示した。

4.1 家事に関する推定

4.1.1 夫の推定結果

最初に平成 13 年の推定結果（表 3）を見る。

通勤時間については、夫自身の通勤時間は有意で、その増加は家事時間を減少させる。これは妻の就業状態に関わらず安定的である。それに対して妻の通勤時間は妻正規の場合、夫の家事を増加させるが、妻非正規の場合はその逆に夫の家事を減少させる。妻正規の場合は夫が家事を代替する効果が出ていると考えられるが、妻非正規の場合の結果の解釈は難しい。非正規の場合、正規に比べて職場を選ぶことでできる。つまり通勤時間を選択できることから、より通勤時間のかかるところを選択する背景には必要な家事が減少していることが考えられる。

末子年齢については、いずれの妻の就業状態においても年齢が低いほど家事が増えている。ただし、子どものいない場合と比べて多いのは、妻正規と妻非正規の場合は 3-5 歳まで、妻無業の場合は 1-2 歳までである。それ以降は子どもがいなかった時の状態に戻ることがわかる。

親との同居ダミーについては有意な結果にはなっていないが、符号は負になっているため、夫の家事を代替する可能性もある。今回は夫方と妻方の区別や健康状態を考慮していないため、明確な影響が出なかったとも考えられる。

居住都市については、いずれも有意ではなく、明確な結果は得られていない。

最終学歴について見ると、夫が大学・大学院卒の場合、妻正規の世帯では家事が多くなっているが、妻が無業の場合だと家事は減少するという結果になっている。家庭内の相対的資源の影響が出ているとも考えられる。一方、妻の学歴については有意な結果は得られていない。

賃金率を見ると、妻正規の世帯では、妻賃金率が高いと夫の家事が多い。比較優位の観点からは理論整合的な結果といえる。また、妻非正規の世帯では夫賃金率が高いと夫の家事が多いという結果になった。これは所得効果によって労働時間が減少した影響が出ているのであろうか。

続いて平成 18 年の推定結果（表 4）を見ることで、これまでの結果の頑健性について確認する。

通勤時間については、いずれの妻就業状態でも夫自身の通勤時間は有意で、その増加は家事時間を減少させる。このことは平成 13 年の推定結果と一致している。妻の通勤時間は平成 13 年では、妻正規の場合に夫の家事を増加させ、妻非正規の場合はその逆に夫の家事を減少させたが、平成 18 年の結果では、いずれの就業状態の世帯でも影響は確認されなかった。

末子年齢については、いずれの妻の就業状態においても年齢が低いほど家事が増えている。子どものいない場合と比べて多いのは、いずれの世帯でも 3-5 歳までであり、平成 13 年の結果とほぼ一致している。ただ、妻非正規世帯では 9-11 歳、妻無業世帯では 12-14 歳の世帯で家事が減少している。

親との同居ダミーについては、妻正規世帯と妻非正規世帯で負で有意になっている。平成 18 年では親が夫の家事を代替する可能性が示されたが、平成 13 年では負であるものの有意ではなく、安定的な結果とはいえない。

居住都市については、5 万未満都市居住の影響が妻正規世帯では負で有意、妻非正規世帯では正で有意になっている。また妻無業世帯では町村居住で家事が少なくなっている。平成 13 年では有意な変数は一つもなかった。妻無業世帯の影響は固定的な性別役割分業意識が町村で強い結果と解釈できるが、妻正規と妻非正規間の影響の違いについて解釈は難しい。いずれにせよ安定的な結果ではない。

最終学歴では、夫の学歴はいずれの妻就業状態においても有意ではなかった。平成 13 年では高学歴の夫はやや家事が多いことが示唆されていたが、平成 18 年でそうした影響は確認されなかった。一方、妻の学歴については妻非正規と妻無業の世帯で、妻が大学・大学院卒の場合、夫の家事が多くなっている。平成 13 年では正であるものの有意ではなかったが、相対資源の効果が出ている可能性がある。

賃金率を見ると、妻非正規の世帯で、夫妻の賃金率が高いと夫の家事が多いことが示されている。妻の賃金率の正の効果は理論整合的である。夫に関しては平成 13 年でも正で有意であり、やはり所得効果が出ているのかもしれない。

4.1.2 妻の推定結果

平成 13 年の結果（表 5）から見ていく。

通勤時間の影響について、いずれの妻就業状態でも夫の通勤時間の増加によって、妻の家事は増加する一方、妻自身の通勤時間の増加によって家事は減少する。

末子年齢について見ると、妻の就業状態に関わらず、末子の年齢が低いほど家事は多くなっていることがわかる。さらに、夫の場合には、末子が小学生になる前には、子どものいない世帯と家事時間は変わらなくなっていたが、妻の場合、末子が高校を卒業しても家事が多いという結果になった。

親との同居による影響については、妻非正規の場合には家事の減少効果があるが、妻無業の場合は、逆に家事が増加するという結果になっている。

居住都市については、妻正規の世帯で、大都市（100 万以上）で家事が多くなっているようである。

最終学歴の影響は、妻非正規の世帯で夫が大学・大学院卒の場合、妻の家事が少なくなっている一方、夫が小学・中学卒の場合、妻の家事が多くなっている。妻無業世帯でも夫が小学・中学卒の場合、妻の家事が多い。妻の学歴は、大学・大学院卒場合、妻正規と妻無業の世帯で家事が多くなっている。また、妻正規と妻非正規の世帯では、短大・高専卒の場合に家事が多く、小学・中学卒。妻非正規の世帯でも有意ではないが係数は正である。小学・中学卒の場合、妻正規と妻非正規世帯で家事が少ない。

賃金率について見ると、夫の賃金率が高いと、いずれの妻就業状態においても妻の家事が多くなる。同様に、妻の賃金率が高いと妻の家事は減少している。これらの結果は理論整合的である。

次に平成 18 年の結果（表 6）について見る。

通勤時間の影響について、いずれの妻就業状態でも夫の通勤時間の増加によって、妻の家事は増加する一方、妻自身の通勤時間の増加によって家事は減少する。これは平成 13 年の結果と一致している。

末子年齢では、妻の就業状態に関わらず、末子の年齢が低いほど家事は多くなっている。さらに、夫の場合と比べて子どものいることの長期的な影響は平成 13 年で得られたものと一致している。

親との同居による影響については、妻非正規と妻無業の世帯では家事を増加させている。妻無業世帯においては、平成 13 年の結果と一致しているが、妻非正規世帯では逆の影響ということになった。家族の構成に変化があった可能性もあるが、明確なことはここからはわからない。妻無業の場合、介護等の必要性から妻が無業化している可能性もあり、その点の考慮も今後、必要になると考えられる。

居住都市については妻正規の世帯で、大都市（100 万以上）で家事が多くなっており、平成 13 年の結果と一致しており安定的な結果といえる。妻非正規世帯では 5 万未満の場合、妻無業世帯では 100 万以上の場合に妻の家事が少ないという結果が得られているが、これらについては平成 13 年ではそうした影響は観察されず、確定的な結果ではない。

最終学歴の影響について、夫の学歴の影響を見ていくと、妻正規世帯では小学・中学卒の場合に多く、妻非正規の世帯では短大・高専卒の場合に少なく、妻無業世帯では、小学・中学および高専・短大卒の場合に多くなっている。これらの結果のうち平成 13 年と一致しているのは、妻非正規世帯の小学・中学卒の影響のみである。しかしながら、おおむね夫の学歴が低いと妻の家事は多くなることが見て取れる。妻の学歴は、妻が大学・大学院卒場合、妻無業の世帯で家事が多くなっている。妻正規と妻非正規の世帯でも有意ではないが係数は正である。小学・中学卒の場合、妻正規世帯で家事が少ない。いくつかは平成 13 年の結果と一致しているが、全般的な傾向は見て取れない。

賃金率について見ると、夫の賃金率が高いと、妻非正規と妻無業世帯で妻の家事が多くなる。妻正規の世帯でも有意ではないが係数は正である。妻の賃金率については、妻非正規の世帯で妻の家事が多くなっており、平成 13 年と逆の符号になっている。

4.2 労働に関する推定

4.2.1 夫の推定結果

平成 13 年の結果（表 7）を先に見ていく。

通勤時間では、夫の通勤時間が多いほど、労働時間も多くなっている。これはいずれの妻の就業状態でも安定的な結果である。妻の通勤時間の影響については、妻非正規世帯で夫の労働時間が多くなっている。これは家事の推定のところで述べたように、利用可能な時間が増加していることによる可能性がある。

末子年齢の影響については、妻正規の場合、末子が 0 歳の場合、労働時間は少ない。妻非正規の場合にはそうした影響は観測されず、妻無業では子どもなしに比べると労働時間は逆に多いという結果となった。妻正規と妻非正規ではいくつかの末子年齢層で係数が正で有意となっているが、妻無業の場合は、末子が 12-14 歳になるまで、子どものいない世帯に比べて労働時間が長い。背景として、子どもの養育のために、夫が積極的に市場労働している状況がうかがえる。

親の同居について見ると、妻非正規の世帯で少ないことがわかる。労働時間を増やす効果が予想されたが、ここではそれを支持する結果は得られなかった。

居住都市の影響について見ると、町村の場合、妻無業世帯以外では労働時間が少なくなっている。また、妻正規世帯では 5 万以上 15 万未満で少なく、妻無業世帯では 100 万以上で少ないという結果になっている。

最終学歴では、夫が大学・大学院卒の場合、いずれの妻就業状態でも労働時間が多くなっている。また、妻非正規世帯では小学・中学卒の場合に労働時間は少なく、妻無業世帯では短大・

高専卒の場合に労働時間が多いという結果になっている。妻の学歴については、妻正規の世帯で、小学・中学卒の場合に夫の労働時間が少ないことがわかる。

賃金率について見ると、いずれの妻就業状態でも、夫の賃金率が高いほど、夫の労働時間は少ない。妻の賃金率については、妻正規世帯で夫の労働を増加させている。

続いて平成 18 年の結果（表 8）について見ていく。

通勤時間では、夫の通勤時間が多いほど、労働も多い。これはいずれの妻の就業状態でも安定的な結果であり、平成 13 年の結果と一致している。一方、妻の通勤時間の影響については、いずれの妻就業状態においては有意ではない。平成 13 年では妻非正規世帯で増加効果があったが、ここでは確認されなかった。

末子年齢の影響については、妻正規と妻非正規世帯では 6-8 歳以上あたりから労働時間が多めになっており、妻無業の世帯では 12-14 歳まで一貫して子どもなしと比べると多いことは平成 13 年とほぼ一致した結果である。

親の同居について見ると、有意なケースはなく、平成 13 年の妻非正規世帯でのマイナス効果は確認されなかった。

居住都市の影響について見ると、妻無業世帯では、5 万以上 15 万未満で労働時間が多くなっている。これは平成 13 年では確認されていない影響であり、頑健な効果であるとはいえない。

最終学歴では、夫の学歴について見ると、大学・大学院卒の場合、いずれの妻就業状態でも労働時間が多くなっており、平成 13 年の結果と一致している。また、妻非正規および妻無業世帯で短大・高専卒の場合も労働時間が多い。さらに非正規世帯では小学・中学卒で少なくなっているが、これも平成 13 年と一致した結果である。総じて、高学歴なほど労働時間が長いことが確認された。妻の学歴について見ると、妻無業世帯で小学・中学卒の場合に夫の労働時間が少ないという結果となっている。

賃金率について見ると、夫の賃金率が高いほど、いずれの妻就業状態においても夫の労働は少なく、平成 13 年の結果と一致している。妻の賃金率については、有意なケースはなく、平成 13 年の妻正規世帯での減少効果はここでは確認されなかった。

4.2.2 妻の推定結果

平成 13 年の結果（表 9）から見ていく

通勤時間について夫の時間から見ていくと、その影響は確認されなかった。一方、妻の通勤時間はいずれの妻就業状態においても労働時間を増やしている。

末子年齢の影響は末子年齢が低いほど労働時間が少ないのはいずれの妻就業状態においても共通している。子どもがいない世帯と比べて少ないのは 6-8 歳までであり、それ以降は同程度、働くことができていることがわかる。

親との同居の影響は、いずれの妻就業状態においても、労働時間を増加させる効果がある。一般的には妻の家事の代替等を通しての効果と考えられるが、家事時間の推定においては、親との同居はおおむね妻の家事を増加させていた。このあたりについては親の健康状態など考慮すべきことがあり、解釈にはさらに詳細な分析が必要であろう。

居住都市については、いずれの妻就業状態でも 100 万以上で少なく、それ以外で多いという結果になっている。

最終学歴について夫の学歴について見ると、妻非正規世帯で小学・中学卒の場合に、妻の労働時間が少なくなっている。妻の学歴では、短大・高専卒以上の場合、おおむね労働時間が少ないようである。

賃金率について見ると、夫の賃金率が高いほど妻の労働は少ない一方、妻の賃金率が高いほど妻の労働が多くなっているのは、いずれの妻就業状態にも共通している。また理論整合的である。

続いて平成 18 年の結果（表 10）を確認していく。

通勤時間について見ると、妻正規世帯では、夫の通勤時間に増加効果があるようである。妻の通勤時間については、いずれの妻就業状態でも妻の労働時間を増加させている。妻の通勤時間の影響については平成 13 年の結果と一致している。

末子年齢の影響については、妻正規世帯では 6-8 歳になるまで労働時間は少なく、平成 13 年の結果と一致している。妻非正規世帯では、妻正規世帯ほど明確な影響は観察されていない。

親との同居の影響は正で有意であり、平成 13 年の結果と一致しており、頑健な結果といえる。親との同居には妻の就業を促進する効果があるといえる。

居住都市については、妻正規世帯では 100 万以上で負で有意、妻非正規世帯では、15 万未満の都市でいずれも労働時間が多くなっている。これには賃金の地域差が反映されている可能性もある。平成 13 年の結果とは部分的に一致しているものの、頑健な結果であるというにはやや安定性にかける。

最終学歴について夫の学歴の影響は、妻正規世帯で大学・大学院卒の場合に多くなっている。妻の学歴については、短大・高専卒以上ではおおむね労働時間が少ないようである。最終学歴の影響については平成 13 年と一致しているものはなく、頑健な結果であるとはいえない。

賃金率について見ると、夫の賃金率はいずれの妻就業状態でも負で有意であり、平成 13 年の結果と一致している。妻の賃金率については妻正規世帯でのみ正で有意となっており、こちらも平成 13 年の結果と一致しており、頑健な結果といえよう。

5. おわりに

本稿では、社会生活基本調査の平成 13 年および平成 18 年の個票データを用いて夫婦の時間配分に関する分析を行った。

記述的な分析からは、この 2 時点間で妻の時間に比べて夫の時間のほうが大きく変化したことがわかった。妻正規世帯の妻の労働時間は 12 分の増加であったが、いずれの妻就業状態の世帯でも夫の労働時間は 30 分程度増加している。家事時間は妻正規と妻非正規世帯では数分増加したが、妻無業世帯ではわずかに減少している。

また、夫婦間の比率で見ると、末子が 1-2 歳という家事が最も必要な時期に、妻正規世帯では夫の家事貢献は増えるものの、同時に余暇も相対的に増えてしまうことがわかった。そのため、妻から見た負担感が増す可能性があると同時に、夫婦間の認識の違いが生じていることもうかがえた。男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスの主役である正規共働き世帯でこのようなことが起こっていることは注目に値する。

家事時間の推定の結果からは、通勤時間について、小原（2000）では影響がないとされていた夫の家事に与える影響は、妻のいずれの就業状態においても確認された。すなわち夫自身の通勤時間の増加は夫の家事を減少させる。妻の通勤時間については、夫の家事に与える影響が平成 13 年と平成 18 年で結果が異なり、明確な知見は得られなかった。一方、妻の家事時間は夫妻それぞれの通勤時間の影響を受け、夫の通勤時間によって増加し、妻自身の通勤時間によって減少することが確認された。

また、労働時間の推定結果からは、配偶者の通勤時間による影響は夫妻ともに確認できなかった。小原（2000）では、妻の労働時間は配偶者の通勤時間から影響を受けるという結果が出

ていたが、ここではそうした結果は得られなかった。

家事と労働の推定結果から、時間配分という観点からは、家事については夫婦間で調整が行われているが、労働時間に関しては自身の調整のみで、夫婦間で調整できるほど柔軟なものではない可能性が示唆される結果といえる。ただし、このように、通勤時間に関して小原（2000）とは異なる結果が得られたことについて、これにはデータが異なるうえ、推定モデルも異なることが影響していると考えられる。今後のさらなる分析の積み重ねが必要であろう。

謝辞

本稿は総務省統計研修所におけるマイクロデータ共同利用研究の成果の一部をまとめたものである。研究の実施にあたって、ご協力をいただいた総務省統計研修所研究官室の野原賢一氏周防浩氏をはじめ関係各位に感謝の意を表したい。

参考文献

- 小原美紀（2000）「長時間通勤と市場・家事労働——通勤時間の短い夫は家事を手伝うか？」、『日本労働研究雑誌』No.476、pp.35-45.
- 松田茂樹・鈴木征男（2002）「夫婦の労働時間と家事時間の関係--社会生活基本調査の個票データを用いた夫婦の家事時間の規定要因分析--」、『家族社会学研究』Vol.13、No.2、pp.73-84.
- 水落正明（2006）「家計の時間配分行動と父親の育児参加」、『季刊 社会保障研究』Vol.42、No.2、pp.149-164.
- 柴田愛子・コリン・ボイルズ（1996）「生活時間の配分 有業男女を対象として実証的な検討」、『日本経済研究』No.32、pp.133-148.
- Solberg, E.J. and Wong, D. C. (1992) “Family Time Use: Leisure, Home, Market Work, and Work Related Travel”, *Journal of Human Resources*, Vol.27, No.3, pp.485-510.
- Ueda, A. (2005) “Intrafamily time allocation of housework: evidence from Japan,” *Journal of Japanese and International Economics*, Vol.19, No.1, pp.1-23.
- 山口一男（2005）「少子化の決定要因と対策について--夫の役割、職場の役割、政府の役割、社会の役割--」、『家計経済研究』No.66、pp.57-67.

図1 夫の時間配分

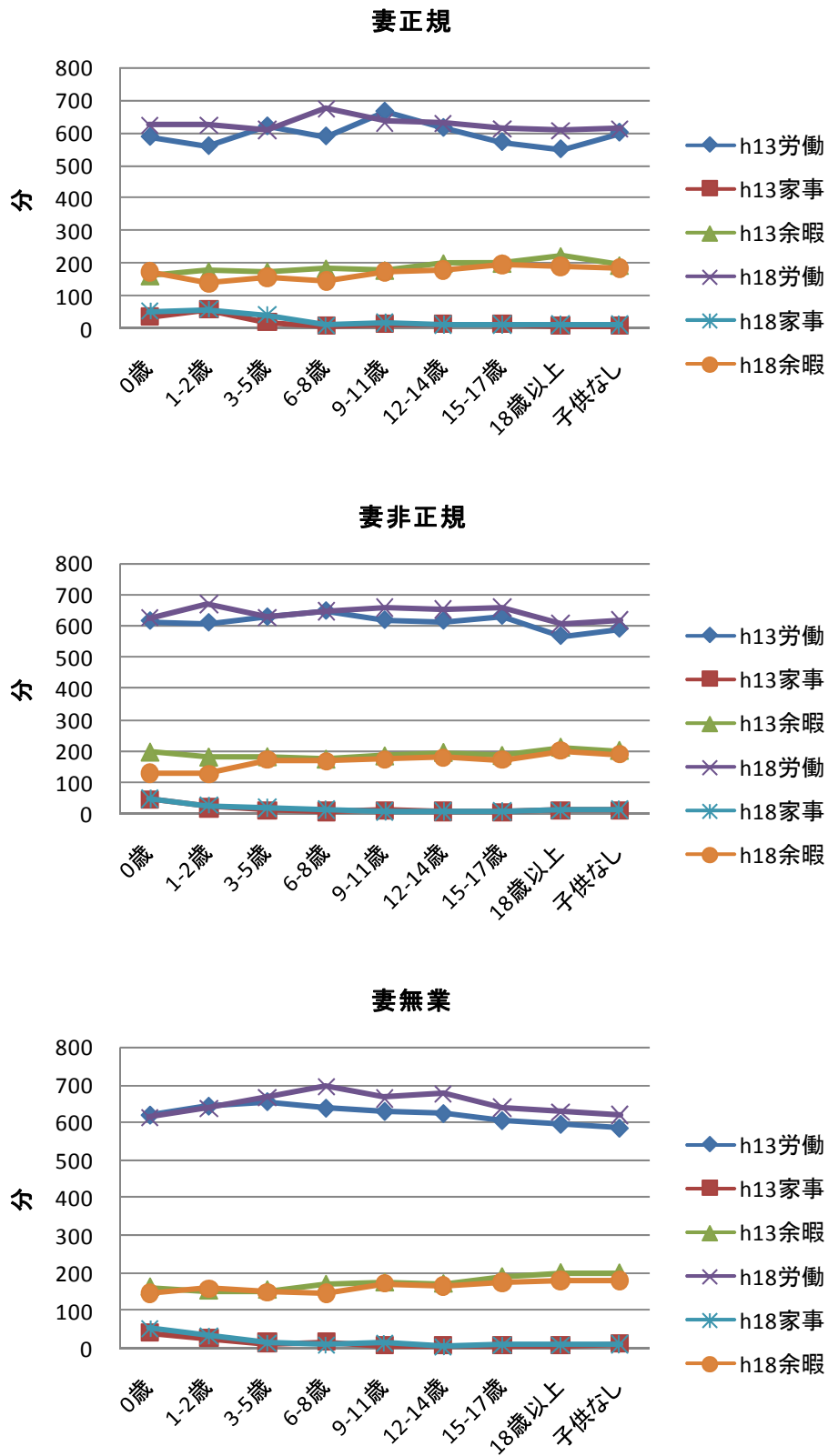


表 1 夫の時間配分 (分)

妻正規	H13			H18			H18-H13		
	労働	家事	余暇	労働	家事	余暇	労働	家事	余暇
0歳	586.6	38.8	161.2	623.6	55.9	173.1	36.9	17.1	11.9
1-2歳	558.4	60.1	175.3	622.7	59.1	140.0	64.3	-1.0	-35.3
3-5歳	619.1	21.8	175.0	611.1	44.4	158.1	-8.0	22.6	-16.9
6-8歳	588.3	10.7	183.9	673.8	12.5	145.9	85.5	1.7	-38.0
9-11歳	664.3	13.9	178.7	633.5	18.7	174.3	-30.9	4.8	-4.4
12-14歳	614.4	14.2	200.1	631.5	14.1	179.1	17.1	-0.1	-21.0
15-17歳	570.6	16.3	200.2	613.7	14.1	195.7	43.1	-2.2	-4.4
18歳以上	549.0	11.6	222.2	608.4	13.2	190.4	59.5	1.6	-31.8
子供なし	599.7	10.4	193.8	613.0	13.6	185.7	13.3	3.2	-8.1

妻非正規	H13			H18			H18-H13		
	労働	家事	余暇	労働	家事	余暇	労働	家事	余暇
0歳	616.2	45.8	196.7	627.1	47.8	128.7	10.9	2.0	-68.0
1-2歳	610.4	21.5	180.8	671.5	26.2	127.7	61.1	4.7	-53.1
3-5歳	629.0	13.4	182.0	628.1	19.6	171.9	-0.8	6.2	-10.1
6-8歳	648.8	8.2	174.4	647.3	13.4	167.5	-1.5	5.2	-6.9
9-11歳	619.0	12.9	184.7	658.6	6.5	173.7	39.6	-6.4	-11.0
12-14歳	616.7	8.5	195.6	652.8	7.7	178.7	36.1	-0.8	-16.8
15-17歳	632.3	7.0	186.0	659.3	7.7	172.1	27.0	0.7	-14.0
18歳以上	566.9	11.5	212.3	606.5	10.5	199.6	39.6	-0.9	-12.7
子供なし	590.5	10.2	202.0	620.7	11.7	189.8	30.2	1.5	-12.2

妻無業	H13			H18			H18-H13		
	労働	家事	余暇	労働	家事	余暇	労働	家事	余暇
0歳	617.9	40.6	163.2	614.5	53.1	148.8	-3.4	12.6	-14.4
1-2歳	641.4	27.4	153.1	636.5	33.1	159.4	-4.9	5.8	6.3
3-5歳	653.5	14.5	155.3	666.1	13.6	150.0	12.6	-1.0	-5.3
6-8歳	636.2	16.1	170.3	693.9	8.8	146.5	57.7	-7.2	-23.9
9-11歳	627.8	7.8	175.4	664.5	13.2	172.7	36.8	5.3	-2.7
12-14歳	622.0	7.6	172.1	674.8	5.4	164.7	52.9	-2.2	-7.3
15-17歳	603.3	8.8	190.8	639.1	8.9	174.3	35.8	0.2	-16.5
18歳以上	593.6	8.9	201.9	628.8	8.6	178.8	35.2	-0.3	-23.1
子供なし	583.3	10.7	201.2	619.8	11.8	180.9	36.5	1.1	-20.3

図2 妻の時間配分

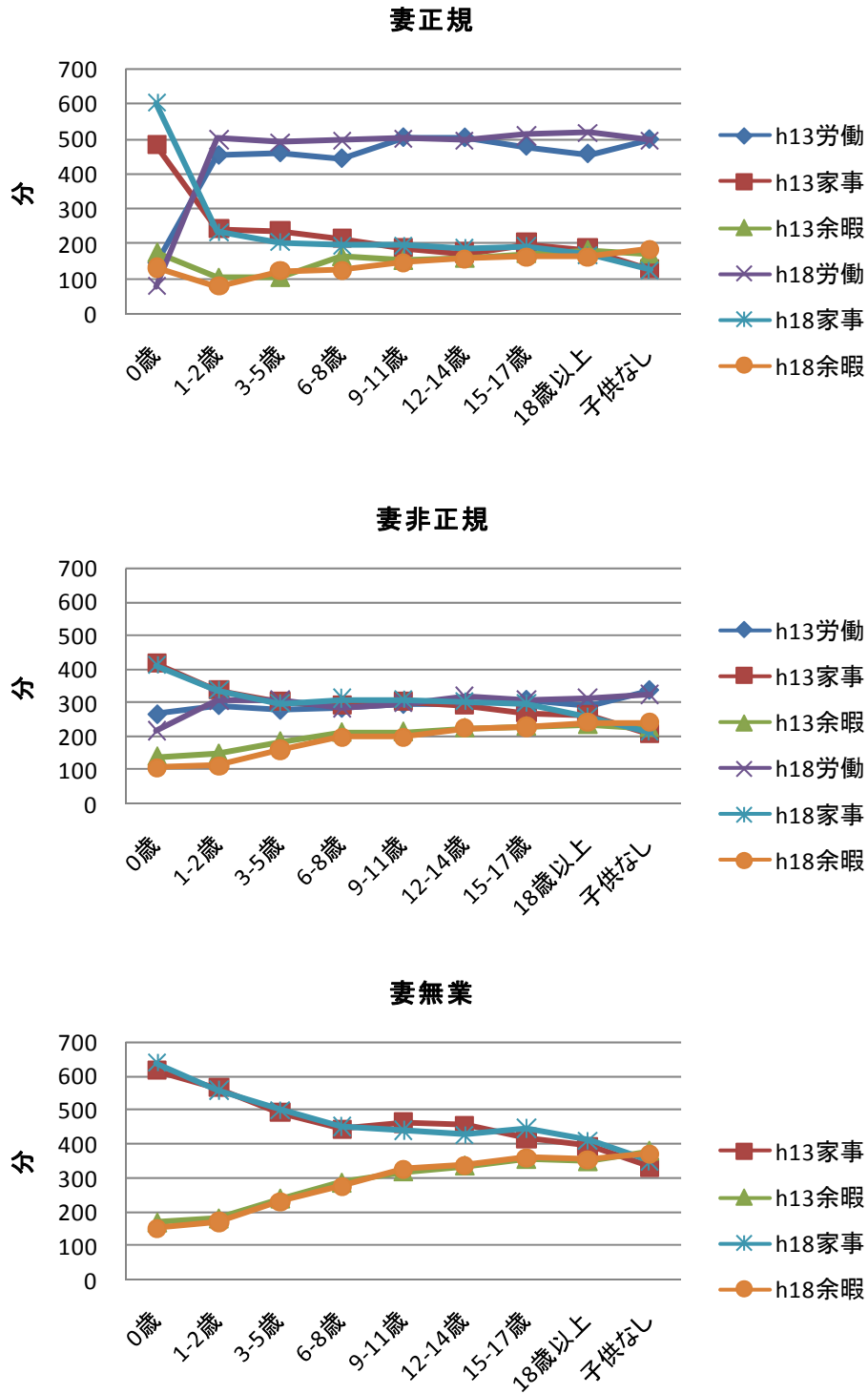


表2 妻の時間配分(分)

妻正規	H13			H18			H18-H13		
	労働	家事	余暇	労働	家事	余暇	労働	家事	余暇
0歳	144.3	480.5	174.8	80.7	599.0	131.6	-63.5	118.5	-43.2
1-2歳	452.8	242.2	103.4	497.5	233.6	79.0	44.7	-8.6	-24.4
3-5歳	459.9	234.5	105.3	488.3	206.0	122.0	28.4	-28.5	16.7
6-8歳	443.6	213.9	164.0	495.5	197.7	125.1	51.9	-16.2	-38.9
9-11歳	503.8	186.0	153.2	500.1	197.3	146.8	-3.7	11.3	-6.4
12-14歳	503.4	173.5	159.3	494.1	188.6	158.0	-9.2	15.1	-1.2
15-17歳	478.8	200.9	172.8	509.0	192.6	161.1	30.2	-8.3	-11.7
18歳以上	457.1	184.1	181.7	515.9	169.4	161.5	58.8	-14.8	-20.2
子供なし	498.3	128.7	171.4	496.1	127.6	184.1	-2.2	-1.1	12.7

妻非正規	H13			H18			H18-H13		
	労働	家事	余暇	労働	家事	余暇	労働	家事	余暇
0歳	265.4	415.9	138.9	217.5	411.8	108.4	-47.9	-4.1	-30.6
1-2歳	292.2	336.6	147.4	308.8	339.6	114.1	16.6	3.0	-33.3
3-5歳	278.0	304.5	184.1	306.6	296.3	161.8	28.6	-8.3	-22.4
6-8歳	284.1	293.5	210.9	286.2	311.7	198.5	2.1	18.2	-12.4
9-11歳	295.7	302.7	213.1	298.8	309.5	198.5	3.1	6.8	-14.5
12-14歳	297.9	290.6	224.2	318.8	302.8	226.0	21.0	12.2	1.8
15-17歳	308.9	270.6	229.4	307.6	295.8	229.7	-1.2	25.2	0.2
18歳以上	289.8	261.9	234.3	314.0	259.2	241.8	24.2	-2.8	7.5
子供なし	337.8	207.1	225.2	325.6	212.2	241.9	-12.2	5.1	16.8

妻無業	H13			H18			H18-H13		
	労働	家事	余暇	労働	家事	余暇	労働	家事	余暇
0歳	0.8	615.7	170.0	0.7	635.1	153.6	-0.1	19.4	-16.5
1-2歳	0.9	566.8	181.4	0.9	555.6	171.5	-0.1	-11.2	-9.9
3-5歳	0.9	493.0	239.2	1.2	498.1	231.6	0.3	5.1	-7.6
6-8歳	4.4	443.8	285.2	0.5	449.9	275.1	-3.9	6.1	-10.1
9-11歳	1.1	463.6	318.3	0.9	438.1	327.7	-0.1	-25.4	9.4
12-14歳	4.8	454.3	334.9	2.2	425.0	337.3	-2.5	-29.3	2.4
15-17歳	4.2	418.9	354.1	6.6	444.2	360.3	2.4	25.3	6.3
18歳以上	3.3	394.2	347.2	4.1	407.0	353.9	0.8	12.8	6.7
子供なし	0.9	332.2	377.7	3.8	346.9	371.0	2.9	14.7	-6.8

図3 夫の時間配分（比率）

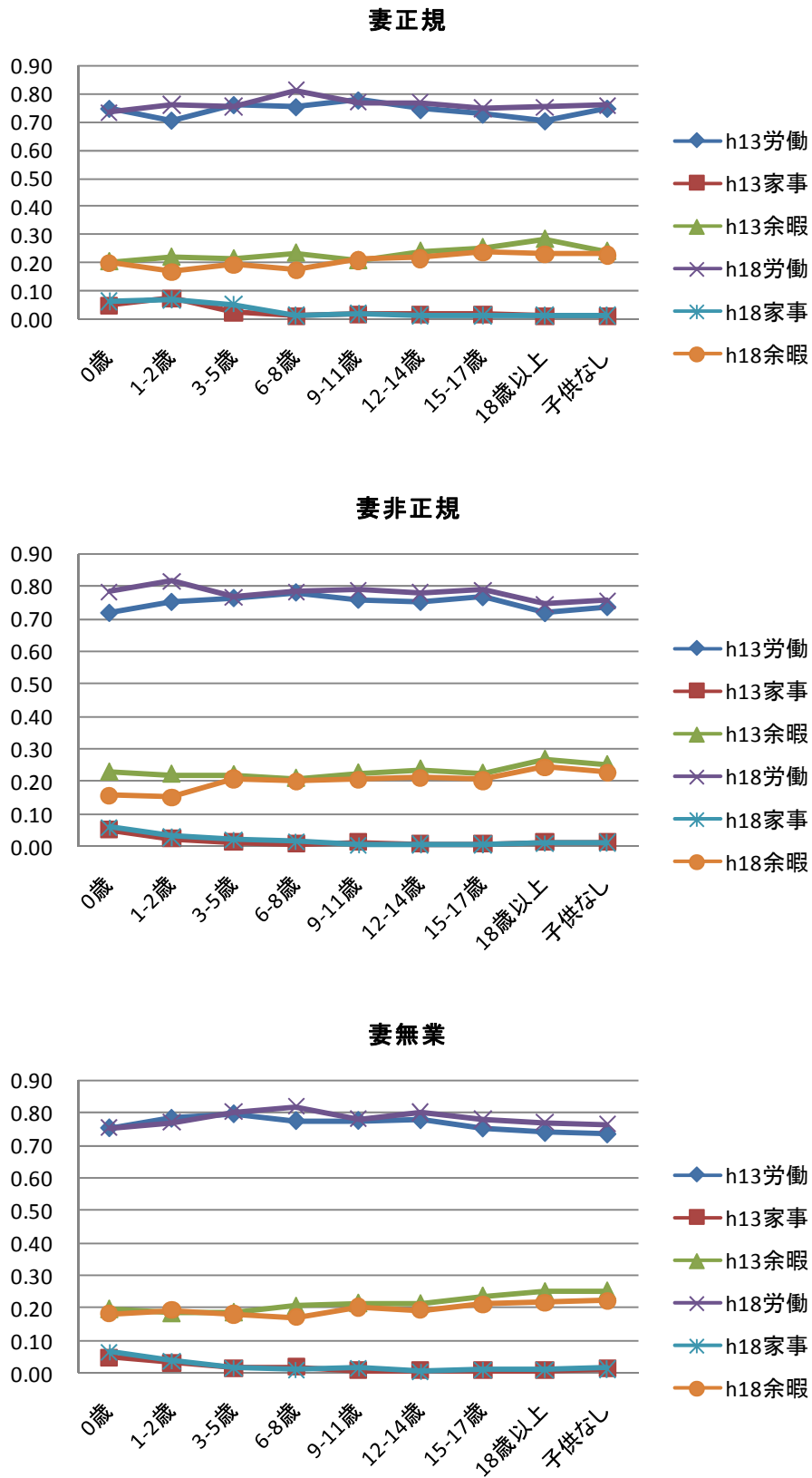


図4 妻の時間配分（比率）

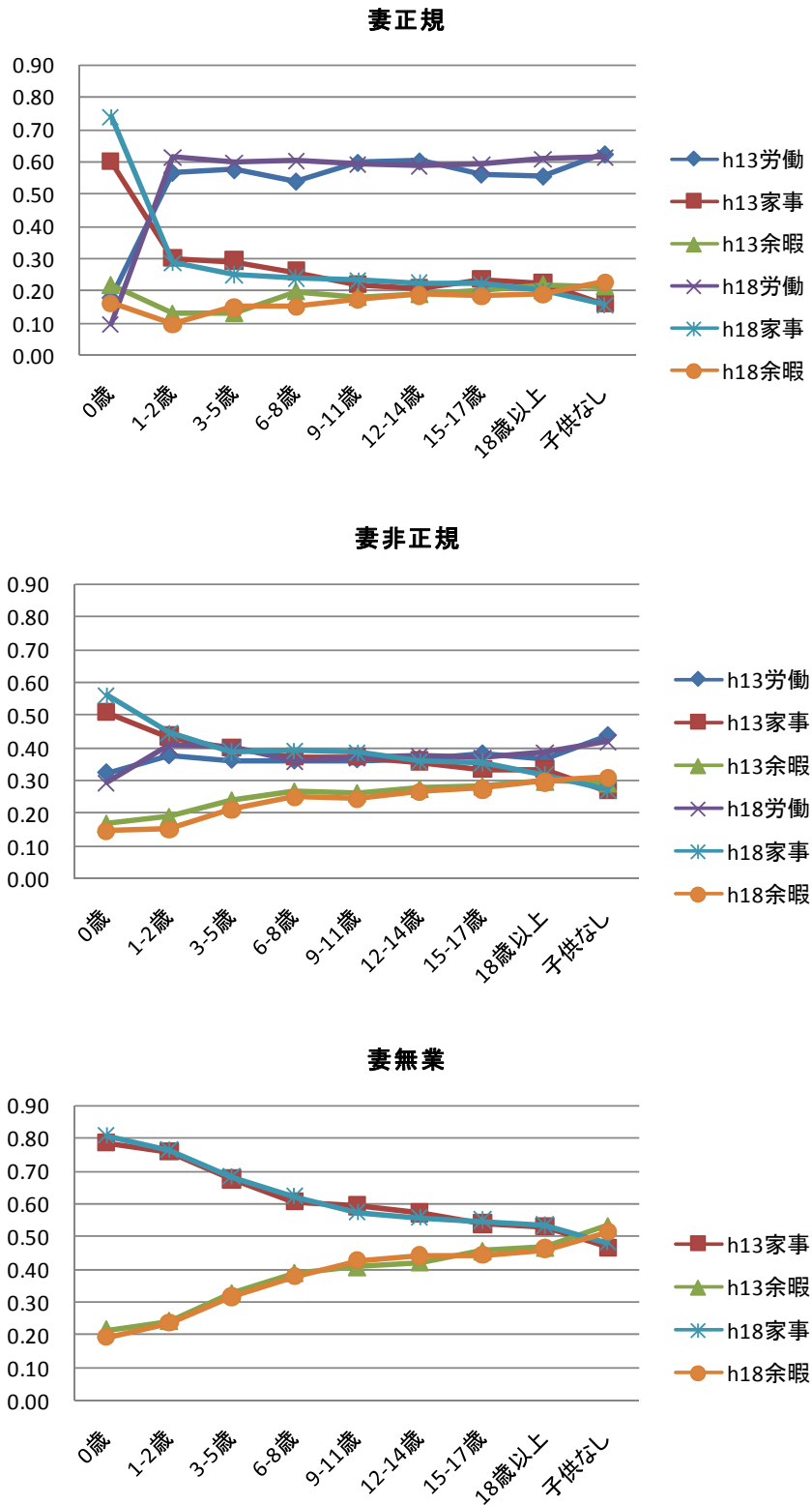


図5 夫の時間/妻の時間

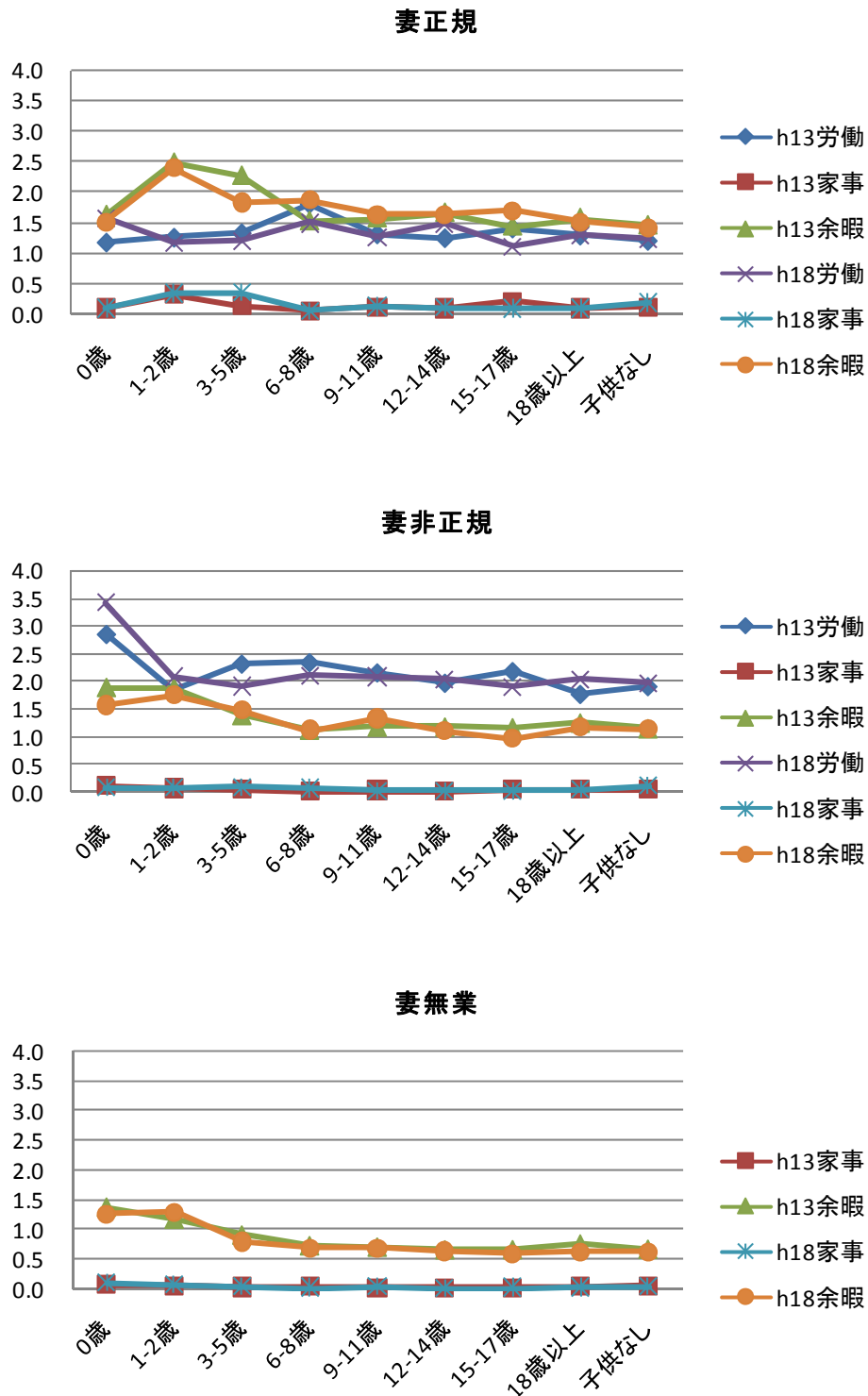


表3 夫の家事（平成13年、Tobit）

	妻正規			妻非正規			妻無業		
	係数	標準誤差	p値	係数	標準誤差	p値	係数	標準誤差	p値
夫通勤時間	-0.9527	0.1411	0.000	-1.8577	0.1469	0.000	-1.5329	0.1086	0.000
夫通勤時間2乗	0.0017	0.0007	0.022	0.0050	0.0006	0.000	0.0041	0.0005	0.000
妻通勤時間	0.5797	0.1533	0.000	-0.3553	0.1850	0.055			
妻通勤時間2乗	-0.0019	0.0009	0.031	0.0018	0.0011	0.113			
末子年齢ダミー（ベースは子どもなし）									
0歳	120.5342	14.1774	0.000	115.5527	28.2736	0.000	106.1187	10.0362	0.000
1-2歳	112.5750	11.1347	0.000	48.2434	19.5407	0.014	83.0598	8.7213	0.000
3-5歳	57.9070	11.1411	0.000	51.6305	13.2380	0.000	6.0873	9.8075	0.535
6-8歳	1.3853	12.0923	0.909	1.4354	13.6294	0.916	-0.8043	11.6107	0.945
9-11歳	6.9226	11.5969	0.551	-2.3331	12.7912	0.855	-19.1296	13.3562	0.152
12-14歳	0.4092	10.5928	0.969	-14.0023	12.9445	0.279	-29.3828	14.1186	0.037
15-17歳	-3.4537	10.7583	0.748	-25.4940	13.7423	0.064	-7.1221	13.8812	0.608
18歳以上	0.8937	8.2576	0.914	-2.6366	10.8073	0.807	-24.6843	9.9134	0.013
親との同居ダミー	-8.8924	6.7150	0.185	-0.3835	9.5778	0.968	-8.6972	9.4974	0.360
居住都市ダミー（ベースは15万以上100万未満都市）									
100万以上都市	-6.6770	10.3555	0.519	2.8946	12.5389	0.817	11.4544	7.8346	0.144
5万以上15万未満都市	11.7852	7.8701	0.134	9.3422	9.4291	0.322	7.0274	7.1236	0.324
5万未満都市	-5.9777	9.7797	0.541	0.3813	13.9325	0.978	9.7884	11.3995	0.391
町村	1.4932	7.4006	0.840	11.9676	8.7391	0.171	1.4945	7.4486	0.841
夫最終学歴ダミー（ベースは高校卒）									
小学・中学	8.6609	9.3153	0.353	-10.8835	10.9652	0.321	-2.6449	10.1754	0.795
短大・高専	15.9994	11.6401	0.169	24.9599	13.1484	0.058	6.4503	9.9421	0.517
大学・大学院	23.4107	9.8287	0.017	-13.3654	11.0709	0.227	-14.4468	7.5530	0.056
妻最終学歴ダミー（ベースは高校卒）									
小学・中学	18.6711	11.6227	0.108	-14.7103	12.6313	0.244	-2.8454	10.8046	0.792
短大・高専	8.4535	9.3874	0.368	0.0026	8.9945	1.000	4.0768	6.5608	0.534
大学・大学院	-8.7902	19.3291	0.649	4.6762	16.0823	0.771	11.2296	9.9030	0.257
夫賃金率	-9.8226	11.7153	0.402	21.7619	9.2857	0.019	5.0013	5.9047	0.397
妻賃金率	58.7693	17.7634	0.001	-27.1540	156.1215	0.862			
定数項	-167.3858	17.6800	0.000	-117.6592	129.8280	0.365	-94.5483	15.8312	0.000
擬似決定係数	0.0288			0.0266			0.0323		
サンプル数	3917			5041			6302		
打ち切りサンプル数	2974			4316			5047		

表4 夫の家事（平成18年、Tobit）

	妻正規			妻非正規			妻無業		
	係数	標準誤差	p値	係数	標準誤差	p値	係数	標準誤差	p値
夫通勤時間	-0.6885	0.1556	0.000	-1.6623	0.1358	0.000	-1.3427	0.1196	0.000
夫通勤時間2乗	0.0021	0.0008	0.008	0.0048	0.0006	0.000	0.0036	0.0005	0.000
妻通勤時間	0.2263	0.1764	0.200	0.1694	0.1609	0.292			
妻通勤時間2乗	-0.0007	0.0010	0.497	-0.0001	0.0011	0.949			
末子年齢ダミー（ベースは子どもなし）									
0歳	101.4546	15.3796	0.000	142.5734	24.4711	0.000	112.5756	10.5623	0.000
1-2歳	94.8230	11.9129	0.000	77.7449	12.5607	0.000	60.9758	9.5564	0.000
3-5歳	72.8031	11.5688	0.000	38.8575	10.6211	0.000	24.9961	10.0930	0.013
6-8歳	13.9088	13.4647	0.302	7.9881	10.6679	0.454	0.4657	12.3130	0.970
9-11歳	17.8980	12.5961	0.155	-27.0197	10.6943	0.012	12.0744	12.9346	0.351
12-14歳	14.5203	12.6972	0.253	-0.9535	10.4593	0.927	-29.8428	15.1177	0.048
15-17歳	-0.2649	12.7464	0.983	-14.4765	10.8294	0.181	1.8855	14.3679	0.896
18歳以上	-3.8520	9.7552	0.693	-4.8069	8.9610	0.592	-0.8546	10.0994	0.933
親との同居ダミー	-20.7909	7.9788	0.009	-15.5927	8.2153	0.058	0.9085	10.5097	0.931
居住都市ダミー（ベースは15万以上100万未満都市）									
100万以上都市	-6.9912	12.0964	0.563	-3.6037	10.4557	0.730	-2.6912	8.6150	0.755
5万以上15万未満都市	-9.2340	7.8393	0.239	4.8110	6.7848	0.478	-6.5865	6.8886	0.339
5万未満都市	-17.3399	10.2272	0.090	17.1328	10.0884	0.090	0.8561	10.8451	0.937
町村	-3.6944	9.6681	0.702	-9.5979	9.1678	0.295	-18.8053	9.5370	0.049
夫最終学歴ダミー（ベースは高校卒）									
小学・中学	-7.5377	12.8682	0.558	6.7602	10.2612	0.510	3.2720	11.6219	0.778
短大・高専	8.5998	11.3950	0.450	13.1703	10.5741	0.213	12.8629	10.0834	0.202
大学・大学院	2.5395	10.9308	0.816	-2.1875	8.7206	0.802	-1.5222	8.1962	0.853
妻最終学歴ダミー（ベースは高校卒）									
小学・中学	11.1311	17.9662	0.536	6.6122	12.1942	0.588	11.6839	12.3433	0.344
短大・高専	8.2131	11.1231	0.460	8.5889	6.8824	0.212	-1.4629	6.7560	0.829
大学・大学院	14.1510	21.0537	0.502	18.4204	10.9430	0.092	16.2380	9.4100	0.084
夫賃金率	-8.1747	12.1800	0.502	16.4611	7.0620	0.020	-2.6489	6.3356	0.676
妻賃金率	27.1186	20.3216	0.182	288.5175	143.8719	0.045			
定数項	-111.8396	20.1439	0.000	-393.7098	143.6702	0.006	-79.6459	16.8030	0.000
擬似決定係数	0.0168			0.0260			0.0284		
サンプル数	3398			5159			5113		
打ち切りサンプル数	2476			4296			4090		

表5 妻の家事（平成13年、OLS）

	妻正規			妻非正規			妻無業		
	係数	標準誤差	p値	係数	標準誤差	p値	係数	標準誤差	p値
夫通勤時間	0.1557	0.0896	0.082	0.2550	0.0793	0.001	0.5494	0.0876	0.000
夫通勤時間2乗	-0.0002	0.0004	0.699	-0.0004	0.0003	0.243	-0.0015	0.0004	0.000
妻通勤時間	-2.2656	0.1034	0.000	-2.0495	0.0970	0.000			
妻通勤時間2乗	0.0081	0.0006	0.000	0.0067	0.0006	0.000			
末子年齢ダミー（ベースは子どもなし）									
0歳	300.9903	11.1458	0.000	262.1141	18.5728	0.000	283.3335	8.4815	0.000
1-2歳	116.1927	8.7005	0.000	125.8709	11.3663	0.000	222.1104	7.0364	0.000
3-5歳	80.8609	8.3312	0.000	96.9009	7.5988	0.000	149.2713	7.3648	0.000
6-8歳	68.4986	8.1766	0.000	77.2080	7.1860	0.000	100.1014	8.6082	0.000
9-11歳	43.1442	7.8272	0.000	58.4781	6.7136	0.000	113.5554	9.4421	0.000
12-14歳	42.9091	6.9900	0.000	52.8439	6.6548	0.000	92.6784	9.7829	0.000
15-17歳	44.5143	6.9653	0.000	33.1638	6.8937	0.000	70.8963	9.9461	0.000
18歳以上	33.3543	5.4119	0.000	29.6335	5.6619	0.000	51.5053	6.9405	0.000
親との同居ダミー	-4.4475	4.4386	0.316	-9.2174	4.9909	0.065	35.9556	6.8216	0.000
居住都市ダミー（ベースは15万以上100万未満都市）									
100万以上都市	23.0191	7.0081	0.001	7.9092	6.2926	0.209	-0.4028	6.0262	0.947
5万以上15万未満都市	-7.9192	5.5119	0.151	1.7099	4.9703	0.731	7.0566	5.4937	0.199
5万未満都市	3.6630	6.6436	0.581	-2.0052	7.4912	0.789	1.7254	9.1240	0.850
町村	-6.1897	5.0554	0.221	-0.0081	4.6612	0.999	0.3724	5.7419	0.948
夫最終学歴ダミー（ベースは高校卒）									
小学・中学	1.1946	6.1409	0.846	13.6466	5.7128	0.017	15.5636	7.8023	0.046
短大・高専	-8.2109	8.1254	0.312	-1.1049	7.4831	0.883	8.5331	8.0153	0.287
大学・大学院	-8.6863	7.0363	0.217	-10.9914	5.8292	0.059	1.8164	5.8964	0.758
妻最終学歴ダミー（ベースは高校卒）									
小学・中学	-15.4638	7.6176	0.042	-18.3656	6.5060	0.005	-6.2710	8.0916	0.438
短大・高専	14.2493	6.7683	0.035	9.8130	4.8461	0.043	7.7327	5.1500	0.133
大学・大学院	40.0225	14.1558	0.005	6.1941	8.3691	0.459	21.6790	7.6565	0.005
夫賃金率	34.1441	8.3844	0.000	42.3583	4.9042	0.000	12.6905	4.4400	0.004
妻賃金率	-48.8803	13.0740	0.000	-504.5613	82.9722	0.000			
定数項	194.9505	11.5611	0.000	607.2066	68.9122	0.000	272.7680	11.8694	0.000
修正済み決定係数	0.3085			0.1912			0.2357		
サンプル数	3917			5041			6302		

表6 妻の家事（平成18年、OLS）

	妻正規			妻非正規			妻無業		
	係数	標準誤差	p値	係数	標準誤差	p値	係数	標準誤差	p値
夫通勤時間	0.1875717	0.106303	0.078	0.4043762	0.088869	0.000	0.588507	0.099986	0.000
夫通勤時間2乗	-0.000291	0.000516	0.573	-0.001095	0.000397	0.006	-0.00154	0.000422	0.000
妻通勤時間	-2.288573	0.118592	0.000	-2.593432	0.106245	0.000			
妻通勤時間2乗	0.0082685	0.000674	0.000	0.0094359	0.000713	0.000			
末子年齢ダミー（ベースは子どもなし）									
0歳	351.2368	11.54655	0.000	180.95	20.30023	0.000	289.875	9.575223	0.000
1-2歳	128.0242	8.739721	0.000	131.5669	9.466093	0.000	222.2358	8.148691	0.000
3-5歳	79.74196	8.355157	0.000	76.38185	7.444094	0.000	147.0963	8.301924	0.000
6-8歳	63.26762	9.061865	0.000	74.30905	7.113386	0.000	109.5708	9.554318	0.000
9-11歳	57.10494	8.511205	0.000	65.99401	6.637407	0.000	75.85852	10.25629	0.000
12-14歳	55.62739	8.491523	0.000	53.11896	6.814347	0.000	73.38353	10.91648	0.000
15-17歳	43.10214	8.236156	0.000	55.75835	6.75642	0.000	77.27784	11.13156	0.000
18歳以上	38.05676	6.219715	0.000	24.84424	5.753951	0.000	52.03244	7.808887	0.000
親との同居ダミー	-8.349884	5.124895	0.103	11.40496	5.105769	0.026	45.24864	8.404013	0.000
居住都市ダミー（ベースは15万以上100万未満都市）									
100万以上都市	26.85171	8.237667	0.001	2.358247	6.622537	0.722	-13.48	7.057914	0.056
5万以上15万未満都市	4.094162	5.335883	0.443	-4.659905	4.480862	0.298	2.888245	5.725204	0.614
5万未満都市	-5.930674	6.812388	0.384	-17.43548	6.810639	0.010	-3.15852	9.431926	0.738
町村	-4.794823	6.54212	0.464	-2.236568	5.886164	0.704	-7.32417	7.882235	0.353
夫最終学歴ダミー（ベースは高校卒）									
小学・中学	14.54464	8.267581	0.079	-3.972451	6.833189	0.561	26.69798	9.866157	0.007
短大・高専	-6.632994	8.003209	0.407	-14.28214	7.169955	0.046	16.79865	8.716359	0.054
大学・大学院	7.216654	7.645207	0.345	-7.744817	5.782197	0.180	-0.07056	6.80418	0.992
妻最終学歴ダミー（ベースは高校卒）									
小学・中学	-34.91593	11.53258	0.002	1.759691	8.005933	0.826	9.372421	10.57957	0.376
短大・高専	-8.430383	7.854751	0.283	8.260791	4.564385	0.070	16.9242	5.603678	0.003
大学・大学院	0.3334177	15.15311	0.982	6.603845	7.45775	0.376	22.44805	7.993441	0.005
夫賃金率	12.85967	8.549904	0.133	24.14288	4.682155	0.000	13.74937	5.17525	0.008
妻賃金率	-15.89718	14.60739	0.277	221.2286	99.33125	0.026			
定数項	190.0376	13.31323	0.000	4.684649	99.13717	0.962	272.1473	13.51007	0.000
修正済み決定係数	0.3607			0.2079			0.2289		
サンプル数	3398			5159			5113		

表7 夫の労働（平成13年、OLS）

	妻正規			妻非正規			妻無業		
	係数	標準誤差	p値	係数	標準誤差	p値	係数	標準誤差	p値
夫通勤時間	3.1214	0.1413	0.000	3.2241	0.1156	0.000	2.8827	0.0996	0.000
夫通勤時間2乗	-0.0124	0.0007	0.000	-0.0121	0.0005	0.000	-0.0106	0.0004	0.000
妻通勤時間	-0.2221	0.1631	0.173	0.2874	0.1413	0.042			
妻通勤時間2乗	0.0004	0.0009	0.698	-0.0015	0.0009	0.074			
末子年齢ダミー（ベースは子どもなし）									
0歳	-57.0884	17.5795	0.001	16.5516	27.0581	0.541	35.5636	9.6471	0.000
1-2歳	-12.3655	13.7227	0.368	15.1259	16.5592	0.361	40.7567	8.0034	0.000
3-5歳	18.1590	13.1403	0.167	13.1235	11.0705	0.236	47.8534	8.3769	0.000
6-8歳	10.3920	12.8964	0.420	31.1381	10.4690	0.003	43.3681	9.7913	0.000
9-11歳	34.0871	12.3453	0.006	11.2219	9.7807	0.251	29.4733	10.7398	0.006
12-14歳	22.3462	11.0248	0.043	17.2672	9.6952	0.075	44.2696	11.1275	0.000
15-17歳	-4.3837	10.9859	0.690	34.0893	10.0432	0.001	4.6478	11.3131	0.681
18歳以上	2.3272	8.5359	0.785	-18.4728	8.2487	0.025	-4.8681	7.8944	0.537
親との同居ダミー	1.4578	7.0007	0.835	-14.9324	7.2710	0.040	1.7976	7.7592	0.817
居住都市ダミー（ベースは15万以上100万未満都市）									
100万以上都市	0.8524	11.0534	0.939	-12.5449	9.1674	0.171	-13.6910	6.8545	0.046
5万以上15万未満都市	-25.7360	8.6935	0.003	-5.8118	7.2411	0.422	-3.4699	6.2487	0.579
5万未満都市	-7.3803	10.4786	0.481	-4.1963	10.9137	0.701	-6.2290	10.3780	0.548
町村	-14.0956	7.9735	0.077	-21.7523	6.7907	0.001	-8.4421	6.5311	0.196
夫最終学歴ダミー（ベースは高校卒）									
小学・中学	-9.4219	9.6856	0.331	-22.5457	8.3227	0.007	-4.9169	8.8746	0.580
短大・高専	16.9509	12.8157	0.186	3.0025	10.9018	0.783	15.3479	9.1169	0.092
大学・大学院	27.2988	11.0979	0.014	49.4439	8.4924	0.000	37.1277	6.7068	0.000
妻最終学歴ダミー（ベースは高校卒）									
小学・中学	-20.8150	12.0148	0.083	6.6733	9.4783	0.481	-2.9732	9.2037	0.747
短大・高専	-3.8096	10.6752	0.721	5.7490	7.0602	0.416	2.6412	5.8578	0.652
大学・大学院	25.4409	22.3270	0.255	-19.0224	12.1927	0.119	-1.2463	8.7088	0.886
夫賃金率	-24.2690	13.2241	0.067	-38.3170	7.1448	0.000	-23.9733	5.0502	0.000
妻賃金率	-28.9050	20.6208	0.161	230.4763	120.8793	0.057			
定数項	524.9446	18.2346	0.000	283.3455	100.3958	0.005	449.5220	13.5007	0.000
修正済み決定係数	0.1273			0.1588			0.1414		
サンプル数	3917			5041			6302		

表8 夫の労働（平成18年、OLS）

	妻正規			妻非正規			妻無業		
	係数	標準誤差	p値	係数	標準誤差	p値	係数	標準誤差	p値
夫通勤時間	3.0752	0.1521	0.000	2.9993	0.1254	0.000	2.7332	0.1131	0.000
夫通勤時間2乗	-0.0131	0.0007	0.000	-0.0114	0.0006	0.000	-0.0103	0.0005	0.000
妻通勤時間	-0.0061	0.1697	0.971	0.2317	0.1499	0.122			
妻通勤時間2乗	-0.0001	0.0010	0.907	-0.0004	0.0010	0.710			
末子年齢ダミー（ベースは子どもなし）									
0歳	1.1564	16.5191	0.944	-19.9748	28.6422	0.486	23.0736	10.8266	0.033
1-2歳	8.4520	12.5035	0.499	21.5194	13.3560	0.107	42.3559	9.2137	0.000
3-5歳	11.3545	11.9533	0.342	7.9289	10.5031	0.450	36.9294	9.3869	0.000
6-8歳	28.1360	12.9643	0.030	23.7565	10.0365	0.018	59.6661	10.8030	0.000
9-11歳	29.2213	12.1765	0.016	41.8372	9.3649	0.000	19.1988	11.5967	0.098
12-14歳	11.9121	12.1484	0.327	16.9676	9.6146	0.078	38.5856	12.3432	0.002
15-17歳	1.6023	11.7830	0.892	16.7723	9.5328	0.079	-0.5020	12.5864	0.968
18歳以上	-11.1247	8.8982	0.211	-2.8899	8.1184	0.722	-11.0977	8.8295	0.209
親との同居ダミー	10.1774	7.3319	0.165	-9.2933	7.2039	0.197	-1.0699	9.5024	0.910
居住都市ダミー（ベースは15万以上100万未満都市）									
100万以上都市	-10.1879	11.7852	0.387	-1.1205	9.3439	0.905	2.5433	7.9803	0.750
5万以上15万未満都市	5.8033	7.6338	0.447	2.0913	6.3222	0.741	16.6437	6.4734	0.010
5万未満都市	4.8594	9.7461	0.618	-0.7882	9.6093	0.935	8.1510	10.6646	0.445
町村	1.4382	9.3595	0.878	-2.3547	8.3050	0.777	-6.7610	8.9124	0.448
夫最終学歴ダミー（ベースは高校卒）									
小学・中学	-25.1512	11.8280	0.034	-17.2480	9.6412	0.074	-10.4751	11.1556	0.348
短大・高専	9.4700	11.4498	0.408	19.5248	10.1163	0.054	19.9310	9.8555	0.043
大学・大学院	36.0538	10.9376	0.001	45.5896	8.1583	0.000	30.6437	7.6934	0.000
妻最終学歴ダミー（ベースは高校卒）									
小学・中学	12.5900	16.4991	0.445	-10.6813	11.2958	0.344	-29.5647	11.9622	0.013
短大・高専	-6.7294	11.2374	0.549	-6.7813	6.4400	0.292	-3.7745	6.3360	0.551
大学・大学院	-25.5245	21.6788	0.239	-12.7501	10.5224	0.226	11.5663	9.0381	0.201
夫賃金率	-37.3646	12.2319	0.002	-32.5845	6.6062	0.000	-10.9602	5.8516	0.061
妻賃金率	15.3222	20.8980	0.463	45.9665	140.1495	0.743			
定数項	498.6168	19.0465	0.000	454.1374	139.8757	0.001	448.3315	15.2758	0.000
修正済み決定係数	0.1177			0.1198			0.1271		
サンプル数	3398			5159			5113		

表9 妻の労働（平成13年、OLS）

	妻正規			妻非正規		
	係数	標準誤差	p値	係数	標準誤差	p値
夫通勤時間	-0.1238	0.1206	0.305	-0.0885	0.0883	0.316
夫通勤時間2乗	-0.0001	0.0006	0.892	-0.0003	0.0004	0.386
妻通勤時間	4.7044	0.1391	0.000	5.0223	0.1079	0.000
妻通勤時間2乗	-0.0206	0.0008	0.000	-0.0210	0.0007	0.000
末子年齢ダミー（ベースは子どもなし）						
0歳	-216.0593	14.9958	0.000	-74.7226	20.6674	0.000
1-2歳	-43.4750	11.7059	0.000	-30.3729	12.6481	0.016
3-5歳	-20.2050	11.2090	0.072	-34.6282	8.4558	0.000
6-8歳	-20.1009	11.0010	0.068	-29.2987	7.9964	0.000
9-11歳	13.7019	10.5309	0.193	-7.6253	7.4707	0.307
12-14歳	11.9566	9.4045	0.204	3.2257	7.4053	0.663
15-17歳	-2.9294	9.3713	0.755	3.8884	7.6712	0.612
18歳以上	-0.7710	7.2814	0.916	-7.6913	6.3005	0.222
親との同居ダミー	12.2166	5.9718	0.041	24.9148	5.5537	0.000
居住都市ダミー（ベースは15万以上100万未満都市）						
100万以上都市	-25.3139	9.4289	0.007	-20.6061	7.0022	0.003
5万以上15万未満都市	20.8102	7.4158	0.005	-3.5479	5.5309	0.521
5万未満都市	20.8203	8.9385	0.020	19.6983	8.3361	0.018
町村	26.8557	6.8016	0.000	8.3193	5.1868	0.109
夫最終学歴ダミー（ベースは高校卒）						
小学・中学	-10.8119	8.2621	0.191	-12.6054	6.3570	0.047
短大・高専	-11.1522	10.9322	0.308	-1.9834	8.3270	0.812
大学・大学院	2.5130	9.4668	0.791	2.2350	6.4866	0.730
妻最終学歴ダミー（ベースは高校卒）						
小学・中学	16.3980	10.2490	0.110	2.4322	7.2397	0.737
短大・高専	-18.8069	9.1062	0.039	-7.5050	5.3927	0.164
大学・大学院	-30.9090	19.0456	0.105	-21.1362	9.3129	0.023
夫賃金率	-22.8970	11.2806	0.042	-26.4377	5.4573	0.000
妻賃金率	56.4295	17.5901	0.001	81.5768	92.3295	0.377
定数項	278.1298	15.5546	0.000	165.4380	76.6839	0.031
修正済み決定係数	0.3144			0.3414		
サンプル数	3917			5041		

表 10 妻の労働（平成 18 年、OLS）

	妻正規			妻非正規		
	係数	標準誤差	p値	係数	標準誤差	p値
夫通勤時間	0.0822	0.1423	0.564	-0.0433	0.0985	0.660
夫通勤時間2乗	-0.0013	0.0007	0.067	-0.0004	0.0004	0.369
妻通勤時間	5.0709	0.1587	0.000	5.8279	0.1177	0.000
妻通勤時間2乗	-0.0227	0.0009	0.000	-0.0262	0.0008	0.000
末子年齢ダミー（ベースは子どもなし）						
0歳	-245.6109	15.4548	0.000	-33.7210	22.4953	0.134
1-2歳	-44.0658	11.6979	0.000	-20.9608	10.4897	0.046
3-5歳	-19.5738	11.1832	0.080	-11.9511	8.2490	0.147
6-8歳	-28.6654	12.1291	0.018	-6.6141	7.8826	0.401
9-11歳	1.8576	11.3921	0.870	11.2111	7.3551	0.128
12-14歳	4.7415	11.3657	0.677	23.8674	7.5512	0.002
15-17歳	3.3429	11.0239	0.762	8.1827	7.4870	0.274
18歳以上	12.3578	8.3250	0.138	13.9157	6.3761	0.029
親との同居ダミー	15.7686	6.8596	0.022	15.8740	5.6579	0.005
居住都市ダミー（ベースは15万以上100万未満都市）						
100万以上都市	-61.3633	11.0259	0.000	-9.3161	7.3386	0.204
5万以上15万未満都市	1.8775	7.1420	0.793	19.0800	4.9654	0.000
5万未満都市	8.4141	9.1182	0.356	34.1115	7.5471	0.000
町村	10.4328	8.7565	0.234	23.5361	6.5226	0.000
夫最終学歴ダミー（ベースは高校卒）						
小学・中学	-0.2569	11.0660	0.981	-0.4388	7.5721	0.954
短大・高専	-1.8691	10.7121	0.861	-2.0072	7.9453	0.801
大学・大学院	21.3241	10.2330	0.037	8.6861	6.4074	0.175
妻最終学歴ダミー（ベースは高校卒）						
小学・中学	39.2101	15.4361	0.011	-0.9757	8.8716	0.912
短大・高専	-18.8228	10.5134	0.073	-10.0281	5.0579	0.047
大学・大学院	-52.2535	20.2821	0.010	-7.6986	8.2642	0.352
夫賃金率	-20.4458	11.4439	0.074	-19.7791	5.1884	0.000
妻賃金率	81.5272	19.5517	0.000	-74.1839	110.0722	0.500
定数項	239.5803	17.8195	0.000	254.1810	109.8571	0.021
修正済み決定係数	0.3610			0.3736		
サンプル数	3398			5159		

表 11 記述統計量 (平成 13 年)

	妻正規(N=3917)				妻非正規(N=5041)				妻無業(N=6302)			
	平均	標準偏差	最小	最大	平均	標準偏差	最小	最大	平均	標準偏差	最小	最大
夫労働時間(分)	519.172	195.393	0	1155	527.645	200.438	0	1125	536.108	196.363	0	1155
夫家事時間(分)	17.811	50.667	0	720	10.950	43.827	0	750	16.952	50.661	0	645
夫通勤時間(分)	54.892	51.133	0	405	65.103	56.434	0	480	67.391	57.371	0	510
妻労働時間(分)	428.172	188.044	0	1005	276.892	173.016	0	795				
妻家事時間(分)	186.973	139.177	0	1125	266.908	140.307	0	1095	455.605	182.974	0	1170
妻通勤時間(分)	42.078	41.212	0	300	34.157	36.036	0	345				
末子年齢												
0歳	0.032	0.177	0	1	0.010	0.100	0	1	0.090	0.287	0	1
1-2歳	0.057	0.233	0	1	0.031	0.173	0	1	0.169	0.375	0	1
3-5歳	0.062	0.240	0	1	0.082	0.275	0	1	0.131	0.337	0	1
6-8歳	0.064	0.245	0	1	0.091	0.287	0	1	0.078	0.268	0	1
9-11歳	0.072	0.259	0	1	0.116	0.320	0	1	0.061	0.239	0	1
12-14歳	0.097	0.295	0	1	0.128	0.334	0	1	0.056	0.230	0	1
15-17歳	0.099	0.298	0	1	0.112	0.315	0	1	0.054	0.225	0	1
18歳以上	0.234	0.423	0	1	0.225	0.417	0	1	0.172	0.377	0	1
子どもなし	0.283	0.450	0	1	0.206	0.404	0	1	0.190	0.392	0	1
親との同居	0.259	0.438	0	1	0.157	0.364	0	1	0.102	0.302	0	1
居住都市												
100万以上	0.096	0.295	0	1	0.107	0.310	0	1	0.166	0.372	0	1
15万以上100万未満	0.268	0.443	0	1	0.339	0.474	0	1	0.354	0.478	0	1
5万以上15万未満	0.201	0.401	0	1	0.209	0.407	0	1	0.220	0.414	0	1
5万未満	0.116	0.320	0	1	0.070	0.255	0	1	0.058	0.233	0	1
町村	0.319	0.466	0	1	0.274	0.446	0	1	0.202	0.402	0	1
夫最終学歴												
小学・中学	0.137	0.344	0	1	0.160	0.366	0	1	0.103	0.304	0	1
高校	0.513	0.500	0	1	0.524	0.499	0	1	0.453	0.498	0	1
短大・高専	0.062	0.242	0	1	0.066	0.248	0	1	0.076	0.265	0	1
大学・大学院	0.287	0.453	0	1	0.250	0.433	0	1	0.368	0.482	0	1
妻最終学歴												
小学・中学	0.092	0.289	0	1	0.108	0.310	0	1	0.089	0.285	0	1
高校	0.516	0.500	0	1	0.620	0.486	0	1	0.535	0.499	0	1
短大・高専	0.263	0.440	0	1	0.214	0.410	0	1	0.275	0.447	0	1
大学・大学院	0.129	0.335	0	1	0.058	0.234	0	1	0.101	0.301	0	1
夫賃金率	2.329	0.520	1.237	4.08	2.424	0.580	1.058	4.08	2.415	0.629	1.058	4.08
妻賃金率	1.550	0.438	0.98	3.348	0.888	0.028	0.784	0.959				

表 12 記述統計量（平成 18 年）

	妻正規(N=3398)				妻非正規(N=5159)				妻無業(N=5113)			
	平均	標準偏差	最小	最大	平均	標準偏差	最小	最大	平均	標準偏差	最小	最大
夫労働時間(分)	550.670	185.210	0	1230	560.990	196.381	0	1155	561.932	198.170	0	1365
夫家事時間(分)	22.014	58.936	0	795	12.258	41.579	0	570	16.036	48.867	0	660
夫通勤時間(分)	57.268	48.803	0	375	64.975	54.289	0	360	68.437	58.736	0	420
妻労働時間(分)	440.514	203.608	0	1050	283.116	182.829	0	930				
妻家事時間(分)	187.677	152.077	0	1005	270.489	146.725	0	1005	457.742	186.484	0	1140
妻通勤時間(分)	43.609	40.949	0	330	34.222	35.845	0	300				
末子年齢												
0歳	0.041	0.197	0	1	0.009	0.092	0	1	0.089	0.285	0	1
1-2歳	0.078	0.268	0	1	0.047	0.212	0	1	0.155	0.362	0	1
3-5歳	0.082	0.274	0	1	0.087	0.282	0	1	0.133	0.339	0	1
6-8歳	0.066	0.248	0	1	0.096	0.295	0	1	0.083	0.276	0	1
9-11歳	0.078	0.268	0	1	0.118	0.323	0	1	0.067	0.251	0	1
12-14歳	0.078	0.268	0	1	0.108	0.311	0	1	0.057	0.232	0	1
15-17歳	0.086	0.280	0	1	0.113	0.317	0	1	0.055	0.228	0	1
18歳以上	0.199	0.399	0	1	0.203	0.402	0	1	0.159	0.366	0	1
子どもなし	0.293	0.455	0	1	0.219	0.413	0	1	0.201	0.401	0	1
親との同居	0.233	0.423	0	1	0.156	0.363	0	1	0.084	0.278	0	1
居住都市												
100万以上	0.082	0.274	0	1	0.097	0.297	0	1	0.146	0.354	0	1
15万以上100万未満	0.347	0.476	0	1	0.374	0.484	0	1	0.397	0.489	0	1
5万以上15万未満	0.288	0.453	0	1	0.305	0.460	0	1	0.274	0.446	0	1
5万未満	0.134	0.341	0	1	0.092	0.289	0	1	0.072	0.258	0	1
町村	0.150	0.357	0	1	0.132	0.338	0	1	0.111	0.314	0	1
夫最終学歴												
小学・中学	0.089	0.284	0	1	0.093	0.290	0	1	0.074	0.262	0	1
高校	0.469	0.499	0	1	0.535	0.499	0	1	0.438	0.496	0	1
短大・高専	0.090	0.286	0	1	0.079	0.269	0	1	0.086	0.281	0	1
大学・大学院	0.352	0.478	0	1	0.294	0.455	0	1	0.401	0.490	0	1
妻最終学歴												
小学・中学	0.041	0.199	0	1	0.062	0.241	0	1	0.061	0.239	0	1
高校	0.456	0.498	0	1	0.597	0.491	0	1	0.484	0.500	0	1
短大・高専	0.318	0.466	0	1	0.260	0.439	0	1	0.327	0.469	0	1
大学・大学院	0.184	0.388	0	1	0.081	0.273	0	1	0.127	0.333	0	1
夫賃金率	2.328	0.544	1.23	3.888	2.383	0.588	1.23	3.888	2.408	0.628	1.095	3.888
妻賃金率	1.587	0.437	0.942	2.914	0.955	0.021	0.798	1.009				

Abstract

Our analysis is based on the Survey on Time Use and Leisure Activities of 1996 and 2001. We examine the time allocation between couples and get some empirical results as follows: First, the husband's housework time is significantly affected only by his own commuting time. The effect of wife's commuting time is not clear. Second, the wife's housework time is significantly affected by both husband's and wife's commuting time. Third, the husband's and wife's work time are not affected by the spouse's commuting time either. These results suggest that the housework time is mutually affected in the household but the work time is not.

Keywords: Time allocation, Wife's work, Housework and work time